

## 組合員の皆さまへ

このたびの能登半島地震により、お亡くなりになられた皆さまへ心より哀悼の誠を捧げますとともに、ご遺族の皆さまにお悔やみを申し上げます。また、被災されたすべての皆さまにお見舞いを申し上げます。

多くの方々がお正月の元日に、ご家族や大切な方々と希望に満ちた新年を迎え、団らんを楽しんでいたその時に、一瞬にしてそれを奪う災害が襲いました。気の遠くなるような辛く悲しい時間を過ごしてきたことと思います。

思うように連絡を取り合うことができなかったこと、水も電気もガスも使えず、どうやって明日を迎えればいいのか途方にくれたこと、家族や友人の安否が分からず不安に思いながら明かした夜のこと、思い返すと胸が苦しくなることの連続だったと思います。

幸いにも命をつなぐことができた皆さんは、希望を捨てず一歩ずつ進んでまいりましょう。ゆっくりとで構いません。お話したいこと、頼りたいことがありましたら、遠慮なく職場の仲間を頼ってください。皆さまが、復旧・復興を実感するその日まで、私は、一緒にその歩みに寄り添ってまいります。

発災直後から、被災地に駆けつけ、あるいはそれぞれの地域で、昼夜を問わず復旧に携わっている皆さまにも、心から感謝いたします。厳しい環境の中で対応をしなければならない方々も、現地に駆け付けたい気持ちを抑えながら今できることに力を注いでいる方々も、その気持ちはきっと被災された皆さまを勇気づけることでしょう。皆さまの一つひとつの取り組みが、被災地の皆さんの生活を支え、希望を支えることに繋がっています。復旧・復興までは長い道のりが予想されています。被災地の皆さまに笑顔が戻るその日まで、組合員が一丸となって力をあわせてまいりましょう。

2024年2月1日  
日本労働組合総連合会  
会長 芳野 友子